

## 共同記者発表（仮訳）

2023年7月30日

1 林芳正外務大臣は、アブドゥラ・シャーヒド・モルディブ共和国外務大臣の招待により、2023年7月29日から30日にかけて、モルディブを公式訪問した。林大臣には日本からハイレベルの代表団が同行した。

2 本日、アブドゥラ・シャーヒド外務大臣と林芳正外務大臣は、二国間会談を行った。

3 同会談の中で、シャーヒド大臣は、林大臣と日本側一行をモルディブ外務省において歓迎し、モルディブと日本のパートナーシップの持続的な力強さと、両国関係の基盤である緊密な人的交流及び友好関係を強調した。

4 両外相は、ウクライナ及びインド太平洋地域を含む、二国間及び多国間の幅広い課題について議論した。両外相は、両国間の更なる関係の深化に向け、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を維持・強化し、共通の利益に対処するため、引き続き緊密に協力していくことで一致した。

5 両外相は、両国間の往来を容易にするための促進や、文化協力の推進を含む人的交流の更なる強化に向けたコミットメントを再確認した。

6 開発協力につき、シャーヒド大臣は、日本がこれまで供与してきた中で最も象徴的な支援である首都マレを囲む護岸の建設を含む、長年にわたりモルディブに供与されてきた寛大な支援に対して、林大臣及び日本政府に謝意を表明した。

7 シャーヒド大臣は、日本が漁船の機械化のための技術支援を行ってきたことを想起し、モルディブの水産業の発展への重要な貢献に対する日本

政府への感謝の意を伝えた。またシャーヒド大臣は、日本がモルディブにおける電気通信インフラの確立に貢献したことを強調した。電気通信インフラの確立は、その後、世界的に有名なモルディブの観光産業の成功に大きく貢献した。

8 シャーヒド大臣は、新型コロナウイルス感染症のパンデミック以来中断していた青年海外協力隊（JOCV）の再開及びモルディブで実施中の草の根・人間の安全保障無償資金協力について、林大臣及び日本政府に対する感謝の意を表明した。

9 林大臣は、1990年代の護岸建設に続く、二国間の友好関係を象徴する新たなプロジェクトの可能性を探り、検討する意向を表明した。

10 両外相は、モルディブの安定と繁栄はインド洋地域の平和と安全と本質的に結びついていること、またその逆も同様である旨強調しつつ、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて緊密に協力し、この文脈における外交・安全保障協力について対話と交流を強化することで一致した。

11 またシャーヒド大臣は、人材育成奨学計画（JDS）を通じた日本の多大な貢献を強調し、モルディブの発展と福祉に多大かつ前向きな影響を及ぼしているこれらの重要な分野における日本政府の継続的な支援とパートナーシップに対する感謝の意を伝えた。

12 またシャーヒド大臣は、第76回国連総会議長を務めた際に、日本政府から得た支援に対する謝意を表明した。林大臣は、モルディブが2023年から2025年の任期で国連人権理事会の理事に選出されたことに対し祝意を表した。

1 3 両外相は、国連その他の国際場裡において、互いの関心事である重要な課題について緊密に協力し、気候変動のような地球規模課題への対応において緊密に連携することで一致した。

1 4 会談後、シャーヒド大臣と林大臣は、外交・公用旅券の査証免除に関するモルディブ政府と日本政府との間の口上書の交換、及び、日本政府による人材育成奨学計画（JDS）の下、奨学金の継続のため、2023年度にモルディブに供与される1億2200万円（約110万米ドル）の無償資金協力に関する交換公文の交換式に立ち会った。

1 5 両大臣は、経済・開発協力を含む様々な分野や国際場裡において、モルディブと日本の二国間パートナーシップをさらに強化するとのコミットメントを再確認した。